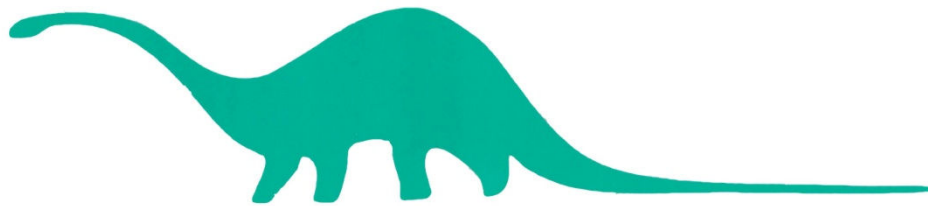


# C.L. information

～Vol.16(9月号)2012～



今月号の特集： 身近な野生動物による衛生的被害  
腸管出血性大腸菌(O157)による食中毒  
食中毒情報

株式会社コントロールラボ  
<http://controllabo.co.jp>

## 身近な野生動物による衛生的被害

近年、身近に生息する野生動物が人家に侵入し、様々な被害をもたらしています。弊社においても、このような問い合わせが多く入ります。

天井裏を走る騒音被害、電気ケーブルの破損、食料への被害、排泄物による悪臭被害などがあります。その中でも最も注意しなければならないのは衛生上の問題です。

そこで今回の C.L.information では、衛生上の問題を引き起こす野生動物とその野生動物に寄生する付随生物について紹介させていただきます。



### 人の生活を脅かす身近な野生動物

人家に侵入し、衛生上の問題を引き起こす野生動物は数多く存在します。以下にこれら野生動物のうち、身近な野生動物 2 種の特長と引き起こす被害を紹介します。

#### ハクビシン

昭和初期に台湾から移入したものが繁殖して、自然に帰化した外来種です。食性は雑食性で、果実・種子などを採って食べます。体は黄褐色で、鼻筋にある白い線がハクビシン(白鼻芯)と言う名前の由来となっています。

ハクビシンは民家の天井裏や床下、物置などに狭い隙間があれば簡単に侵入します。天井裏に侵入して住みつくと、そこに糞尿を蓄積します。尿は天井にシミ汚れを作り、滴り落ちて来ることもあります。また、同じ場所に糞を排出するという特性があります。衛生的な被害としては、身体に寄生しているノミ・ダニによるものがあります。ハクビシンが営巣した場合、ノミ・ダニの数も増殖し、血を求めて室内にも侵入し、人間を刺すケースがあります。また、ダニの死体や糞、脱皮殻はアレルギーとなります。

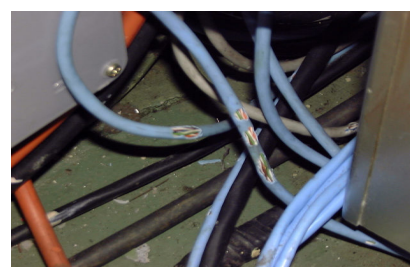


天井裏に排出したフン

#### クマネズミ

俊敏で登坂能力に優れており、都市部・農村部の建物とその周辺のビルや天井裏など比較的乾燥した高所に生息します。高さや幅が 10cm 位の空間を好む傾向があります。食性は雑食ですが、種子を中心とした植物を好みます。

クマネズミによる被害としては、天井裏や壁の中からの夜間の足音による安眠妨害や配線をかじることによる漏電事故及び火災があります。また衛生的な被害として、病原菌の媒介や寄生しているイエダニによる吸血被害やアレルギー疾患の原因となることがあります。



かじられた電気コードの様子

## 野生動物に寄生する付随生物

前項で野生動物が人間の生活に様々な被害をもたらすことを紹介しました。しかし、野生動物を駆除すればそれで解決ではありません。問題の動物はいなくなっても、動物に寄生していた生物が人間に寄生し、健康被害をもたらすことが報告されています。その寄生生物の代表例をご紹介します。

### ヒゼンダニ

体長0.2～0.4mmの微小なダニで、洋ナシ型の体に短い4対の脚があり、腹部には横に走るひだ、背部には多数の短いとげのような突起があります。犬、猫、ウサギ、馬、牛、タヌキ、ネズミ等の動物や人に寄生します。

このダニに寄生されると、皮膚にみみず腫れが現れ、非常にかゆく、水疱も見られます(疥癬症)。重症の場合は特にノルウェー疥癬と呼ばれ、皮膚が角質化してポロポロになり、触れただけでパラパラと皮膚が落ちてしまう状態となります。



### ネコノミ

成虫は縦に扁平な形をしており、体長はオスが1.5～2.5mm、メスは2～3.5mmです。ネコノミは、本来ネコに寄生する種類ですが、人や犬など他の動物の血も吸います。この他に、人の血を吸って被害を与えるノミとしては、ヒトノミやイヌノミもよく知られています。

吸血されると大変かゆく、大きく赤くなります。子供では刺された部分が水泡になることもあります。かゆみがしつこく残ったり、ぶり返してくるのもノミによる被害の特徴です。



### イエダニ

最大1mm程度の卵型のダニで、体色は未吸血時には白色で、吸血すると赤色に変わり、丸みを帯びます。ネズミ類に寄生し、その巢内で生活します。

イエダニは、ネズミや巣などから人の体に移行し、激しく吸血し皮膚炎を引き起こします。吸血とそれによる皮膚炎、貧血および病原体の伝搬が問題になっています。イエダニは、卵→幼虫→第1若虫→第2若虫→成虫の齢期があり、このうち第1若虫と成虫だけが吸血します。



### マダニ類

マダニ類は、一般に家の中に住むダニ(イエダニやヒゼンダニなどの微小ダニ)とは違って固い外皮に覆われ、大きさは未吸血時で約3～4mm(フタゲチマダニ)で、微小ダニの8～10倍に相当します。

マダニ類はその種類により寄宿主は異なりますが、一般にイヌやネコ、ネズミ、ウサギ、ウシ、ウマなどに寄生し、人にも寄生します。栄養源は動物の血液で、幼虫、成虫ともに吸血します。多数が寄生した場合は貧血になることもあります。また、ライム病やロッキー山紅斑熱など様々な病気を媒介します。



## 腸管出血性大腸菌(O157)による食中毒

先月、北海道で腸管出血性大腸菌 O157 による集団食中毒が発生しました。この集団食中毒により 110 名以上の方が感染し、7 名の方が亡くなる深刻な事件となっています。今回の食中毒では、白菜の浅漬けが原因となりました。腸管出血性大腸菌による集団食中毒と言うと、生レバーやユッケなどの生肉によるものが記憶に新しく、今回のように野菜が原因と聞いて意外に思われた方もいるのではないでしょうか。しかし過去にも野菜や果物を原因とする食中毒の報告例もあり、油断は禁物です。

腸管出血性大腸菌の対策をまとめましたので、今一度確認してみてください。

### 十分な洗浄・殺菌・加熱をする

流水でよく洗うだけでも外側に付着した菌を落とすことができます。生食をする場合は、特に念入りな洗浄をお勧めします。また 75°C、1 分以上の加熱で菌を殺すことができます。

### 衛生手洗いをする

生肉を扱った後、トイレに行った後などには衛生手洗いを行いましょう。食材の汚染を防ぐだけでなく、感染拡大防止のためにも重要です。

### 定期的な保菌検査を行う

保菌していても症状が出てこない「無症候キャリア」と呼ばれる人もいます。こうした方が感染源を拡大させないためにも、検便検査を定期的に行い、保菌状態を確認することも非常に大事になります。

腸管出血性大腸菌(O157)の検査随時承っております。  
ご希望の方は弊社までお問い合わせ下さい。

### 先月の食中毒情報

9月に入っても暑い日々が続いており、様々な細菌性食中毒が発生しています。これを受けて各地で食中毒警報が出されました。

豚・牛・鶏などの食肉や卵が原因食品となるサルモネラ食中毒ですが、近年、鶏卵のサルモネラ汚染率が増加傾向にあるという報告がされています。卵は十分に加熱調理する事をおすすめします。また、いったん割卵した卵を放置すると、菌が増殖しやすくなり危険です。使う分だけ、使う直前に割卵し、すぐに調理するようにしてください。

卵を生食する場合は、きれいでひび割れがなく、冷蔵保存された新鮮なものを使用するようにしましょう。ただし、老人、乳幼児、妊娠中の女性など、免疫機能が低下している人に対しては、生卵は避け、できる限り十分に加熱調理したものを提供してください。

### 全国食中毒発生状況 (8/14～9/14 新聞発表分)

原因物質	事例	感染者数
腸管出血性大腸菌	2	131
カンピロバクター	4	115
黄色ブドウ球菌	5	241
サルモネラ	2	16
エルシニア	1	38
自然毒	1	13
不明・その他	17	931

### 株式会社コントロールラボ

本社 〒651-1211 神戸市北区小倉台7-1-7

阪神事業部 〒658-0026 神戸市東灘区魚崎西町2-4-15

福岡営業所 〒816-0921 福岡県大野城市仲畑1-6-15-A棟3

フリーダイヤル

☎0120-540-643

URL <http://controllabo.co.jp>

TEL:078-582-3575 FAX:078-582-3576

TEL:078-858-6801 FAX:078-858-6802

TEL:092-575-0630 FAX:092-586-6321



株式会社コントロールラボ



エムテック衛生検査所